

**日本商工会議所青年部**

**サステイナブル宣言**



令和 4年 2月26日 策定  
令和 6年 3月16日 更新

# 日本YEGサステイナブル宣言 趣意書

## 【宣言文】

**日本YEGは、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進し、常に新しい社会を見据え未来をかたちづくる活動を実践する。また、全国のYEGメンバーが自社で実践できる情報を提供し、YEGメンバーの持続的な成長に貢献をする。**

日本商工会議所青年部（以下、日本YEG）は、以下の理由から、持続可能な社会の実現に向けた「日本YEG サステイナブル宣言」を策定しました。

### （１）商工会議所と渋沢栄一翁との繋がり

渋沢栄一翁は、道徳と利益の両立を掲げる道徳経済合一説を唱えて「公平無私に我が国商工業の発展を図らなければならない」として東京商工会議所を設立しました。この道徳の伴った利益の追求という理念は現代社会における環境・社会ガバナンスにも繋がるものであり、持続可能な社会の実現は渋沢栄一翁の理念を今に受け継ぐ商工会議所における活動の一翼を担う青年部として、主体的に取り組まなければならない課題です。

そして、日本YEGの綱領には「商工会議所青年部は地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い次代への先導者としての責任を自覚し地域の経済的発展の支えとなり新しい文化的創造をもって豊かで住みよい郷土づくりに貢献する」という内容も掲げられており、持続的な成長も志向するものであると考えます。

### （２）日本の成長戦略として推し進めるべきテーマから

世界に類を見ない人口減少、超高齢化社会を迎えた日本経済社会において、雇用を守り、地域を支え続けていくためには、日本の重要な成長戦略である、①SDGs・人と自然の持続可能な共生社会推進、②誰ひとり取り残されないデジタル社会の実現、③男女共同参画の推進に向けた具体的な取組みをおこなっていくことが急務となっています。

地域の未来を牽引するリーダーであるYEGも様々な課題に直面する中で、歩みを止めず、YEG活動を継続していくためには、これまで積み上げた経験をしっかりと生かし、時代に寄り添う新体制、新しい環境へと進化していかなくてはなりません。

時代の課題を解決し、多様な人材から選ばれる団体であることを志向する上で、サステイナブルな視点を持ち続けることが必要であると考えます。

## 【具体的な取組み】

### 1. 日本YEG自らの取組み

日本YEGは、率先垂範して、自らの事業活動において持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進し、常に新しい社会を見据え、未来をかたちづくる活動を実践していくことによって、全国のYEGメンバーに持続可能な社会の実現に向けた気づきの提供を行います。

また、下記に示す取組み内容は、これまで日本YEGが行ってきたものを「サステイナブル」という視点で改めて整理し、これまでの「活動の成果」として示したものでもあります。

#### (1) ハイブリッド方式での事業活動の実践

オンライン方式での会議・事業は、移動に伴うCO<sub>2</sub>の排出量の削減効果が期待できるという考え方がある一方で、リアルによる人と人、人と社会の繋がりを大切にすることで、持続可能な社会の実現にも寄与できるという考え方もあります。そのため、それぞれの立場、事情、状況などに応じて自由に選択できる環境を作ることが真のハイブリッドであり、これからは日本YEGはハイブリッド方式での事業活動を実践していきます。

#### (2) 多様な人材の共創による豊かな社会の実現 ～男女共同参画推進～

多様なあらゆる人々がその個性を発揮して活躍できる社会をつくるため、YEGとして男女共同参画推進に果敢に取り組む必要があります。このテーマの入り口は、個人、団体として「意識」しているかどうかにあります。日本YEGは、「持続可能な循環型社会」および「男女共同参画推進」への必要な取組み対して現在どの位達成出来ているかを把握し、今後チャレンジすべき目標設定に使用してもらうための※1「持続可能な循環型社会への評価システム」を作成しました。また、先進的な取組みを行っているYEG単会や他団体の実例、有識者の意見も重要です。セミナーなどの機会を積極的に推進しながらYEGメンバーの意識の変革を促し、選ばれる組織になるよう下支えを行っていきます。

#### (3) 持続可能で心豊かな人と自然の共生社会実現へ

サステイナブル宣言に則り、持続可能なYEG活動や経営環境を構築するためには、これまでの【過度な消費経済により自然環境のバランスが崩れている消費型社会】を【持続可能な循環型社会】へと変えていくことが必要です。日本YEGではカーボンニュートラルの実現やプラスチック汚染対策などの地球環境課題に積極的に取り組むために※2「脱炭素取組みマニュアル&事例集」を作成しました。このマニュアルを参考に青年経済人として自分たちがすぐに出来ることからはじめ、YEGの価値向上に努めていきます。

#### (4) パートナーシップ構築宣言の推進

未来を拓くパートナーシップ構築推進会議においてパートナーシップ構築宣言の仕組みが創設されました。これは中小企業の適正な取引環境を実現することにより大手企業と中小企業が共存共栄を目指して、日本全体の持続可能な経済成長を図るものです。

そのため、日本YEGは、これまで政策提言の一つとしてパートナーシップ構築宣言の一層の推進のための提言を行いました。これからは日本YEGは持続可能な経済成長のためにパートナーシップ構築宣言をより一層推進していきます。

## 2. 全国のYEGメンバーのサステイナブルな取組みに対する支援

日本YEGは、全国のYEGメンバーが自社で実践できる情報を提供し、全国のYEGメンバーの持続的な成長に貢献し、全国のYEGメンバーのサステイナブルな取組みを支援していきます。

### (1) 人づくりの研修事業等

日本YEGは、全国のYEGメンバーに向けた各種の研修事業を通じて、常に新しい社会を見据え未来をかたちづくる活動や広く社会に有用な付加価値の創造を実践できる人材を育成する機会を提供して、全国のYEGメンバーのサステイナブルな取組みを担う人材の育成を支援します。

### (2) 普及啓発・広報活動

サステイナブルな社会の実現の重要性は理解できても、実際にどのように経営に活かすことができるのか、どのように取組みを開始したらよいか分からないという全国のYEGメンバーの声を聞きます。

そこで、日本YEGは、全国のYEGメンバーにサステイナブルな取組みを自分事として捉えて実際に行動してもらうための一助として、有益な情報を確実かつ適切に提供してサポートをする等より良い未来に導くための重要な羅針盤としての普及啓発活動を行います。

上記1、2について継続的に実践することによって、持続的な社会の実現に向けた活動に関するYEGの存在価値を広く世の中に発信することができ、YEGのブランディング効果も得られ、その結果、全国のYEGメンバーにおける自社に対する社会的評価、信用も高まることが期待されます。

このように持続可能な社会の実現に向けた活動においてYEGのブランド価値を高めること自体、日本YEGの全国のYEGメンバーに対する最大の応援だと考えております。

参考資料

令和5年度 日本YEG公式ページ「翔生」内  
持続可能な未来への日本YEG Action  
<https://yeg.jp/yeg2023/sdgs/>

※1

「持続可能な循環型社会への評価システム」  
<https://system.crosslab.co.jp/yeg-evaluation/login>  
ID・パスワードは各単会の皆様に配布しております。

※2

「脱炭素取組み マニュアル&事例集」  
[https://yeg.jp/2023/sdgs\\_initiative\\_manual.pdf](https://yeg.jp/2023/sdgs_initiative_manual.pdf)

令和4年2月26日 策定  
令和6年3月16日 更新

【問い合わせ先】

令和5年度日本商工会議所青年部 SDGs・男女共同参画推進委員会  
メールアドレス：sdgs.yeg@gmail.com